



「おんが」の福津弁

祖母：地域の人が分別を手伝ってくれるから助かるね。
祖父：重いものを運ぶときはおうじょうするけんね。

おうじょうする？



(日蔭野2区) かわもと だいち 川本 大智ちゃん

※解説は19ページの下

院しました。1週間で退院できましたが、夫はそれからはいろいろな病気の闘いで、昨年の6月に他界しました。この時はとても力を失い、外に出るのも、人に会うのも嫌になっていました。夫と楽しんでグラウンドゴルフも、もうどうでもいい状態でした。

「お母さんが家にじっとしているのが心配。外に出てグラウンドゴルフやおしゃべりをしていての方が安心できる」と言い、私のことを気遣っていると気付きました。それから気持ちを持ち直し、半年ぶりにグラウンドゴルフに参加しました。「おはようございます」とあいさつすると、友達達が「久しぶりね。元気にしてた？」と温かい言葉で迎えてくれました。

「元氣を出して楽しみましょう」「戻ってくるのを待っていたよ」と温かい言葉で迎えてくれました。これからの人生、子どもに心配をかけずにグラウンドゴルフをみんなと一緒に楽しみたいと思います。私が立ち直れたのもグラウンドゴルフのおかげだと思います。お父さん、私にグラウンドゴルフを教えてください。ありがとうございます。(K・Sさん)

お便りを読んで、ご家族のかたや、グラウンドゴルフを通じて親しくなったご友人の皆さんの優しさ、そしてK・Sさんのご主人への感謝の思いが伝わり、とても温かい気持ちになりました。K・Sさんが元氣を取り戻すことができたのは、ご主人と楽しんでグラウンドゴルフと周囲の皆さんの支えがあったからだと思います。広報1月号でまちづくり基本構想を紹介しましたが、市はSDGsの考え方を踏まえた、持続可能で誰もが幸せに暮らせるまちづくりの推進を掲げています。誰もが幸せに暮らしていくためには物の豊かさだけでなく、人と人のつながりや支え合いが大切だと考えます。人と人が心を通わせ、お互いを支え合うことで、誰一人取り残すことのない社会が

12月号の特集は

ても良かった



広報12月号の感想
福津ならではの観光資源を
活用してほしい

思います。福津の観光振興のために、宮地嶽神社と、海水浴場をセットにした観光資源と世界遺産の新原・奴山古墳群を宗像市と共同での活用を推進してほしいと思います。(Worldさん/通り堂/64歳)

いつもお便りありがとうございます。市ではふくつ観光協会や市商工会などと共働して、宮地嶽神社や福津の海岸など、市の観光資源を活用した観光施策を展開しています。例えば昨年5月から6月にかけて開催した「ふくつの鯛茶づけフェア」は、宮地嶽神

読者の声を中心に、みんなと広報担当で作る交流コーナーです。今月の題字は日蔭野3区の松田晴太さんが書いてくれました。



Readers Voice 読者の広場

社の「菖蒲まつり」とのコラボ企画として実施しました。また、10月には福岡海岸沿いの店舗などの協賛店が「光の道」を連想させる菓子を提供・販売する「光の道開運スイーツフェア」を初めて実施しました。

世界遺産の活用については、福津市と宗像市の観光ボランティアガイドの皆さんが相互に両市の世界遺産をガイドするなどの連携を図っています。また、今春には県・宗像市と共働で、両市の世界遺産ガイドを対象にした共通のガイドマニュアルを作成し、観光客へ質の高いサービスを提供できるようにする予定です。

市の観光振興のためには、Worldさんのご意見にもあるとおり、市内の観光資源間の回遊性を高めるための取り組みや世界遺産の活用を含めた近隣市

町との連携を深めていくことも必要になります。今後も観光客の皆さんが福津を楽しめるよう、観光施策を推進したいと考えています。

分 別ステーションへパソコン用の家庭用プリンターを持ち込もうと思っ

た。ホームページでは可能と読み取れますが、分別収集に出すことはできますか。(ヒロくんさん/宮司浜/64歳)

分別ステーションで家庭用プリンターを出すことができます。出すときはプリンター内のインクカートリッジを取り出していただき、分別収集のコンテナに入る場合は「金属混合物」として、コンテナに入らない場合は、「不燃粗大」として出

してください。

家庭用プリンターから取り出したインクカートリッジは「燃やすぐみ」として出すことができます。また、市では家庭用プリンターのインクカートリッジのリサイクルを進めるために、市役所本館の1階と津屋崎行政センターにインクカートリッジ専用の回収ボックスを設置しています。この回収ボックスもぜひご利用ください。

私 がグラウンドゴルフを始めたのは6年前。夫に誘われるごとにゲームの楽しさと友達のおしゃべりで、楽しい日々を過ごしていました。

ところが一昨年のある日、夫が脳梗塞で入

お便り投稿大募集

「好いとお！福津」

声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもたちが手話を身につける、手話で学べ、自由に手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」の制定を国に求めるものです。市議会が採択された意見書は議長名で国に提出しています。この手話言語法制定を求める意見書はご質問のとおり全国の自治体で採択されています。平成28年3月には全地方議会で採択率100%を達成しています。

市議会では、意見書の他にも議案の審議や一般質問など市政に関するさまざまな議論が交わされています。定例会ごとに発行する「議会だより」に内容を掲載していますので、ぜひ広報ふくつと併せてご覧ください。

お問い合わせ 市まちづくり推進室 43・8113
メール info@city.fukutsu.lg.jp